

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもトレーニングハウス・にじいろバナナⅡ（児童発達支援）		公表日		2026年 5月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・児童が安心して身体を動かせるよう、スペースの確保や活用を行いながら過ごしやすい環境づくりを行っています。	・今後も安全に身体を動かせるようなスペースの確保・活動場所の選択等を継続してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・送迎時に待機職員など配置を考えています。	・児童が安心安全に過ごせるような環境設定・配置等を継続してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・別館の出入り口の窓枠レールに足をかけたりしないかは心配です。	・バリアフリー化されているが適切な環境設定であるか今一度話し合い改善に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日の清掃・整理・消毒を行い環境整備を行っています。	・引き続き継続してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・個別訓練や机上課題では訓練室を利用し児童の特性に合わせた訓練や評価ができるよう工夫しています。	・訓練室を利用した机上課題や特性に合わせた訓練、評価が継続できるような環境を整えてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・業務時間内での実施を心がけられているが、参加できない職員等は後日別で実施されています。	・定期的に症例検討を行い、支援内容を検討していますが、日々の支援終了後の振り返り(課題や成功体験等)を訪問支援員・多機能事業所の指導員を含めた話し合いの場を設
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・年1回の保護者会開催を基にご意見を頂き改善に努めるよう心がけています。	・デibroボやアンケート等も活用しながら、保護者が意見や相談をしやすい環境づくりに努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・常日頃からコミュニケーションを図り、会議の開催により意見交換の場を設けています。	・今後もコミュニケーションを積極的に取り、業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・外部評価行えていません。	・今後、第三者による外部評価を行えるようにしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・定期的に勉強会の機会を設けています。	・社内での勉強会に加え、外部研修や活動にも積極的に取り組み、その内容を職員間で共有できるよう努めてまいりたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・ホームページにて公開しています。	・今後も、児童に合わせたプログラムを検討・実施してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・担当者会議、保護者との面談を行いアセスメントを行い支援者会議にて意見交換を行いながら個別支援計画を作成しています。	・児童一人ひとりの状況に合わせた支援内容を提供できるよう、今後も継続して努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・職員同士の日々のコミュニケーションや会議の中で情報交換を行った後に支援者会議へ繋げています。	・児童一人ひとりの状況に合わせた支援内容を提供できるよう、今後も継続して努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・支援者会議にて情報を共有し計画に沿った支援ができるように努めています。	・児童一人ひとりの状況に合わせた支援内容を提供できるよう、今後も継続して努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・独自のツールはあるが周知に努めていますが皆が解読できない、使用できないことがあります。	・アセスメント表、システムにて日々の記録を振り返り支援内容を検討しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・サービス等利用計画に基づいて保護者・児童の関係機関と協働し支援内容を検討した上で児童や保護者のニーズに合わせた必要な項目を支援内容に設定し作成を行っています。	・今後も児童や保護者のニーズに合わせた「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい等に合わせた支援内容を検討してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・できるだけ全員参加を心がけ会議を行い検討し、参加できなかった職員へは後日情報共有を行い立案しています。	・今後も児童個々の成長に繋がるような活動プログラムの立案に努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・特性に応じたプログラムの立案を支援員で検討し、四季のイベント等へも取り組む工夫をしています。	・活動内容が偏らないような工夫を継続してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・特性に応じて、個別訓練や小集団での活動を検討し計画の作成、支援が行われています。	・今後も個々の成長に繋がるような支援に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・その都度、職員間で支援内容の確認や役割分担を行い支援しています。	・今後も職員間での情報共有を継続しチームで連携した支援を提供できるよう努めます。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・時間を取って行う事はできていないが職員数も少ないので日々のコミュニケーションの中で確認できています。	・日々の情報共有に加え、短時間でも意識的に話し合う機会を設けることで、職員間の共通理解がより深まるよう努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・細かな記録は不十分なところがあり、時短勤務者への周知まで行き届かないことがあります。日々のコミュニケーションを意識しています。	・児童の目標に対して支援内容を記載し、振り返りなどで達成度や新たな課題が検討できるような記録内容に努めていきます。
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・支援会議にて意見を出し合い目標の達成度や新たな課題を検討し支援計画の見直し等を行っています。	・支援計画の見直しを継続し、個々の成長に繋がるような支援に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児童発達支援管理責任者、児童指導員、専門職員、必要時訪問支援員が参画し関係機関と連携し児童の支援内容を検討しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・児童発達支援管理責任者、児童指導員、専門職員、必要時訪問支援員が参画し関係機関と連携し児童の支援内容を検討しています。	・今後も各関係機関との連携を図り支援体制を整えていけるよう努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・併行利用や学童への移行支援を含めて保育園やこども園との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	・保育園や学校との情報共有等を図りながら児童が安心して生活・進学できるように支援継続してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・保育園での支援内容等が、就学時に活かせるよう、保護者や先生等と就学前に会議を開催し、情報共有と相互理解を図っています。	・引き続き連携を図り相互理解に努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3	・勉強会に参加しています。 ・支援センターとの連携は積極的に行っていません。	・必要時には積極的に地域の発達センターと連携を図り解決に努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・地域の子ども達との日常的（公園など）な交流はあるものの、イベントなどの地域交流の機会が十分に確保できていません。	・地域の事業所・こども園・関係機関と積極的に情報交換を行い、イベント情報を収集・共有していきます。また、得た情報をもとに、子どもたちが地域と関わる活動を計画し、交流の幅を広げていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・デイロボ（システム）でその日の支援内容等をお伝えしたり、メールで保護者から児童の様子等をご報告を頂いています。また、モニタリング等にて、達成度や新たな課題等について共通理解できるよう努めています。	・必要時以外にも日々の送迎時などで児童の状況を伝え共通理解を持てるよう努めてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・年1回の保護者会を行い家族支援を行っていますがペアトレなどの情報提供は積極的に取り組めていません。	・イベント等（ペアトレ等）の案内など情報を掲示し保護者様へ共有できるよう努めてまいります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に丁寧な説明を心がけるとともに、ホームページでも支援プログラム等を公開し、保護者等への情報提供に努めています。	・今後も丁寧な説明に努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・児童や保護者のニーズや課題等を、関係機関等と情報共有を行い、目標と支援内容を確認した上で、個別支援計画を作成しています。	・児童や保護者の状況に合わせた支援内容を見直し関係機関等と情報共有を継続して行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・支援計画の更新時には、支援内容や目標について改めて丁寧に説明を行い、保護者にご理解いただいた上で同意を得ています。	・今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・必要に応じて保護者と面談・支援を行っています。	・いつでも相談できるような環境づくりを心がけてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・毎年1回、保護者会を開催し、交流する機会を設けているが、頻度を増やしていきたいと思えます。	・交流する機会の頻度を増やすことで、保護者やきょうだいの課題について意見交換する機会となるよう努めていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・意見箱を備え相談や申し入れがあれば必要に応じて保護者と面談し迅速に対応するよう心がけています。	・ご意見等があった際には迅速に対応するよう心がけてまいります。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・日々の情報は対面や連絡によりコミュニケーションを図り情報発信していますがSNSの活用の更新はできていません。	・定期的にHPやSNS等の更新を増やせるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報の取扱いに関しては注意を図り、遵守の意識を高く持っています。	・引き続き、注意を図り遵守してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・児童の特性に合わせて、言葉だけでなくイラストや視覚的なツール等を活用し、分かりやすいコミュニケーションを心がけています。	・今後も個々の成長に繋がるような支援、配慮に努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・積極的な取り組みが行えていません。	・今後は積極的に取り組んでまいりたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・職員のマニュアル研修を定期的の実施できしており、緊急時マニュアルについては家族へ懇談会時に説明を行っています。	・今後も継続して周知や訓練を行い、安全確保に努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・業務継続計画（BCP）を策定し、年2回の防災自主避難訓練を実施しています。	・安全確保に努めていくよう非常災害発生に備えた訓練を継続して実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・服薬やてんかん発作などの状況については、利用開始前や日々の情報収集を通じて、積極的にコミュニケーションを取り把握できるよう努めています。	・必要に応じて適切な対応に努めてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	・アレルギーの有無や種類等は利用開始前の契約時に情報収集を行い把握し、職員へ情報共有していますが事業所内での食事提供はしていません。	・必要に応じて適切な対応ができるよう努めてまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・マニュアルに沿った研修を行い、支援に努めています。	・引き続きマニュアルに沿った支援を行えるよう努めてまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・契約時に保護者への説明しているがSNS等でも発信していきます。	・今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・事例が生じた場合は報告書を提出し、職員全体で話し合い再発防止に努めています。また保護者へ速やかに報告しています。	・今後も再発防止に努めた振り返りを継続し、利用児が安全に過ごせるよう努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止、身体拘束適正化委員会の計画に基づき委員会の開催を行っています。	・継続的に研修機会を確保し適切な対応ができるよう努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			・対象児童（はい）が定期的に研修を行い正しい知識を身につけ支援して行きます。